

新港、五百余戸と工場関係の一千名の人々は声明書を書き新港、津野に逃るゝもの、吾々の
は今迄何をやらせられたか、何れ共首から暴名の下に叛乱は絶へない如く吾々の
最早津野に討たるべきに以て當り、他に道はない、吾々の首領は生かすべからざる、新港會を
控へ、新港農協は應援を述べた。四萬方の労働者、今こゝに津野に逃げら
れり、今復業員は、吾等の奮起する時は来た。

吾等の陣容は堅固なり、新港、津野、五月廿八日

1926
11.28

労働者連隊

津野セメント工場復業員大會

津野セメント東京工場

新港、津野、労働者

今朝工場内、泣いて職工大會開催し健康保険金全
額資本家買収。津野、改定を要求す。

四百の労働者は闘争に入つた。函館上磯千二百の津野セメントでは最早直裁を布告
した。全国、津野セメント工場は勤振しつゝ、あつた。

各前衛隊は大至急會合し、勤負線が二勤
負線が三勤負線を作らねばならぬ

該隊運動のホスター、貼り、ビラ撒きにも勤負
——と実行せねばならぬ、後つて總勤負して活動せねばならぬ
り、前衛隊が中心となつて、全支勤負の活動と勤負に上
らねばならぬ